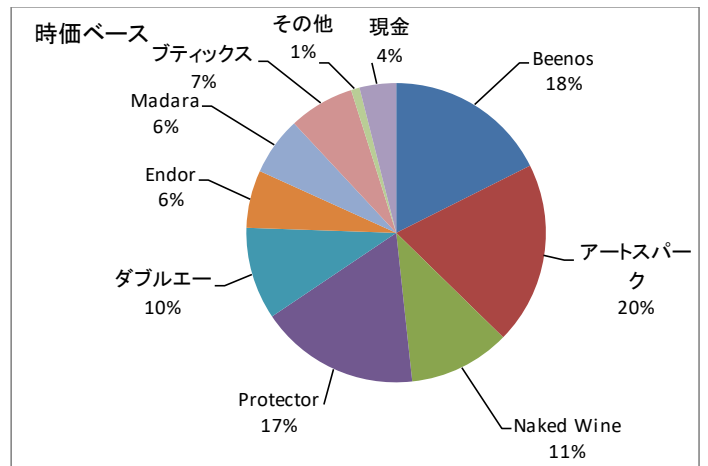
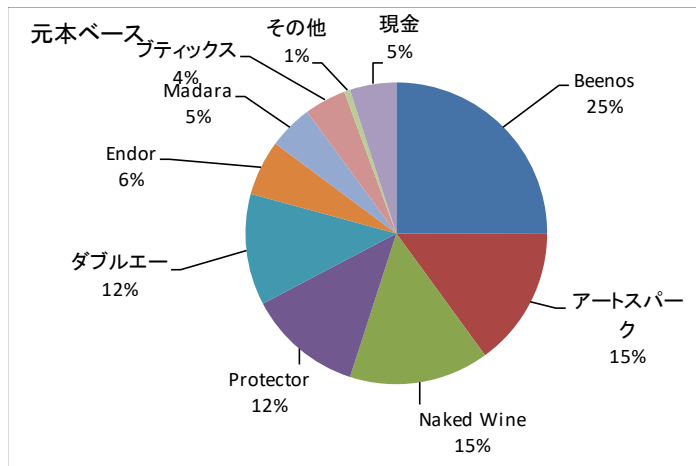
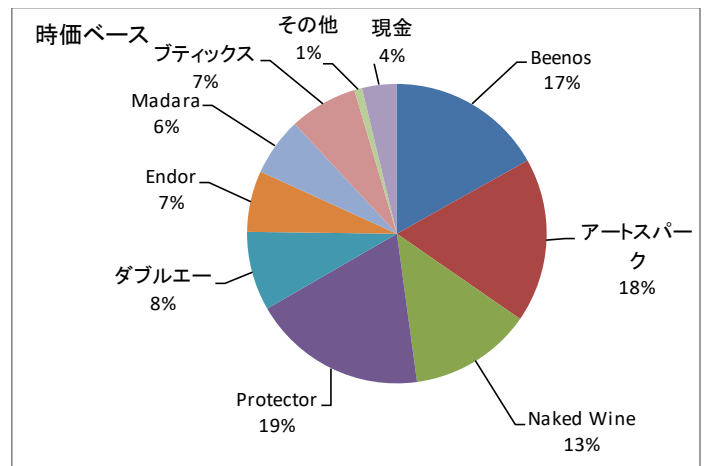
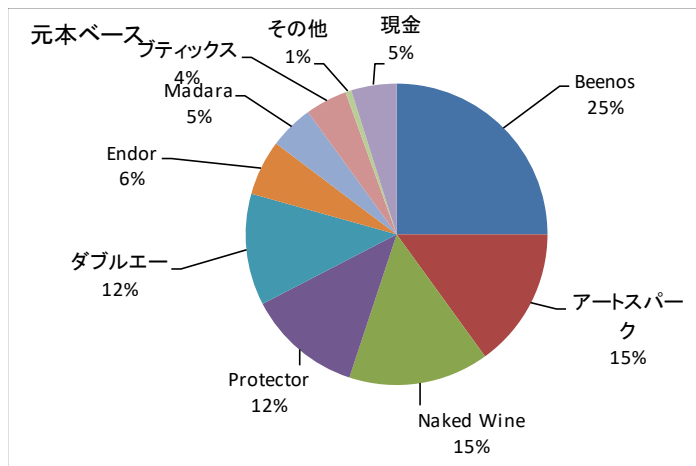


2021年9月末のポジション報告をお送りします。



比較のため、8月末のポートフォリオは以下の通りです。



保有銘柄詳細

銘柄コード	会社名	事業	本社	取得単価	元本ベース比率	時価	為替損益	評価損益	時価ベース比率	3年後価値予想	対時価	年利換算	9月の取引	
3328	BEENOS	越境ECサポート	日本	3,473	25%	3,170	0%	-9%	18%	7,248	129%	32%		
3663	アートスパーク	漫画作成ソフト	日本	549	15%	935	0%	70%	20%	1,588	70%	19%		
		Naked Wines	ワインEC	イギリス	7.50	15%	6.93	3%	-5%	11%	18	156%	37%	
		Protector	損害保険	ノルウェー	51	12%	88	6%	82%	17%	193	119%	30%	
7683	ダブルエー	靴小売	日本	3,110	12%	3,360	0%	8%	10%	7,000	108%	28%		
		Endor	ゲーム機器	ドイツ	130	6%	168	5%	36%	6%	239	42%	12%	
		Madara	化粧品	ラトビア	17	5%	29	5%	72%	6%	46	62%	18%	
9272	ブティックス	展示会	日本	1,292	4%	2,641	0%	104%	7%	4,330	64%	18%		
		その他			1%				1%					
	現金				5%				4%					

今月の取引

8月中旬からトロントの運用会社で働き始めました。長年の個人投資家という経歴を警戒されてすぐにフルタイム契約はしてもらえず、最初4か月は有期雇用契約です。バンバン個人口座で取引しても印象が悪いかと気にして、まったく取引しませんでした。しばらく大人しくしています。

Beenos (取引なし) : 越境 EC 支援。本社 : 東京都品川区

新しく入った運用会社でも **Beenos** を買おうと主張しており、先日最高財務責任者 (CFO) の中村さんとお話する機会がありました。運用資金が大きいと会社経営陣とすぐに話ができるというのは、機関投資家のメリットです。

興味深かった点は競合状況です。**Beenos** が 2020 年に第三者機関に依頼した調査によると、日本からの越境 EC 取引高ランキングは、**Beenos > アマゾン > From Japan > Zen Market** という順番になっているそうです。アマゾンは **B2C** が中心なのでさておき、**C2C** 領域で直接競合する **From Japan** に対しては実に 10 倍もの取引高があるそうです。あまりに大きな差があると思っていたため、これまでは特に調査する必要性も感じていなかったが、投資家からよく聞かれるし、自分たちで「圧倒的ナンバーワン」と言っている手前、一応調べてみたそうです。

Google Trend 検索データや業界関係者の話を聞いた感覚から、2 番手は **Zen Market** で、**Beenos** が 2~4 倍くらい大きいのかなと思っていたので、10 倍以上と聞いて驚きました。小さい企業の成長スピードが高いですから、ちょっと余裕がましすぎではないかと思う部分もありましたが、とりあえず今後 2、3 年は心配する必要がなさそうです。

Origin Materials (カナダ版 NISA 口座で購入) : 代替プラスチック。本社 : 米カリフォルニア

大きな夢見る会社で、つつい応援したくて買ってしまいました。環境問題から逃げられなくなり、脱炭素を公約する企業が増えてきました。例えば、プロクター&ギャンブルや **IKEA** が 2030 年までとあと 10 年しかありません。炭素排出と聞くとエネルギー問題が大きそうですが、実は 20% 程度は製品製造過程で出ており、特に石油由来プラスチック使用量は、1980 年から 2010 年の 30 年で 5 倍になっています。**Origin Materials** は木由来プラスチック原料を作る技術を持っています。代替燃料や代替材料の主な問題は、コストと安定供給と既存設備の改修です。この点、**Origin Materials** の PET 材料は石油由来と同等の価格で、しかも既存設備の改修なく利用できるという夢のような話です。しかも木質チップは供給量も豊富にあり、世界中で取れるため、安定供給もできそうです。

現在、実証プラントを建設しており、果たして本当に計画通りのコストや歩留まりが出せるのかがポイントです。こうした新プロジェクトには遅延がつきものですが、仮に成功しようものなら、非常に大きな価値になります。既にネスレ、ペプシ、ダノンと世界の大手食料品メーカーから提携や出資を受けており、期待の高さが表れています。世界中が、経済的な脱炭素材料を待っているのです。共感・応援できるビジョンに、先の暗そうな石油化学業界から優秀なエンジニアも転職してきているようです。スケールの大きな話、夢があります。

サラリーマン日記

「勤めるのってこんなに大変だったっけ」と日々ボヤいては、「何言ってんのよ」と祐子に怒られています。かなりまともに仕事しているのではないかと自画自賛しています。中国系カナダ人のポートフォリオマネージャー（上司）はなかなか優秀な気がしていて、一緒に仕事するのは学びが多くて楽しい反面、部下は私1人なので、次から次へと仕事が降ってくる状況ではあります。

「この会社良いんじゃない？」と提案すると、「じゃあ、調べといて」となってさらに仕事量が増えるため、どうしたものかと思っています。「半導体セクターの先行きを軽く調べてみよう」って、そんな簡単にできないんですが……。



（上司オフィスからの風景。私など下っ端はオフィス内側の島に座ってます。）

質問コーナー&オンライン説明会

毎月一方的にレポートをお送りしていますが、何か質問があればメールしてください。次の月次レポートまでには回答します。また、半期に1度、6・12月にオンライン説明会を開催しようと思います。投資関連のことでも何でも意見交換できれば嬉しいです。ご都合よければご参加ください。

長友 2021年10月1日@トロント

月次リターン(税引前)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年次
2014(概算)													23.0%
2015(概算)													18.7%
2016	0.0%	0.0%	1.0%	-0.4%	1.5%	4.1%	1.1%	-2.7%	1.3%	4.9%	6.7%	6.3%	26.1%
2017	-2.8%	2.9%	13.5%	-9.6%	-1.6%	5.6%	1.7%	9.5%	11.0%	2.2%	11.5%	-2.9%	45.8%
2018	16.0%	-10.7%	3.5%	0.8%	-1.3%	-0.3%	1.5%	7.0%	5.5%	-6.3%	3.7%	-10.0%	6.4%
2019	5.9%	6.7%	-1.9%	1.7%	1.2%	0.6%	5.8%	0.6%	0.8%	7.7%	3.4%	5.9%	45.5%
2020	0.0%	-5.8%	-10.6%	7.9%	3.3%	4.5%	-3.0%	5.8%	2.9%	3.2%	2.9%	0.5%	10.5%
2021	4.2%	5.5%	9.5%	6.2%	-0.7%	0.6%	2.1%	-0.4%	-1.9%				27.4%

年次リターン(税引前)

	ポートフォリオ	配当込TOPIX	TOPIX	配当込SP500	SP500
2014(概算)	23%	10%	8%	14%	11%
2015(概算)	19%	12%	10%	1%	-1%
2016	26%	0%	-2%	12%	10%
2017	46%	22%	20%	22%	19%
2018	6%	-16%	-18%	-4%	-6%
2019	45%	18%	15%	32%	29%
2020	11%	7%	5%	18%	16%
2021	27%		12%		15%
累計	485%	61%	56%	134%	133%
年率換算	26%	7%	6%	13%	12%
過去3年(年率換算)	20%	2%	0%	14%	12%
過去5年(年率換算)	26%	5%	3%	15%	13%

税引前基準価額推移(Dec. 2013 = 100)

